

INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>)



千里ライフサイエンスセミナー プレインサイエンスシリーズ 第14回 「小胞体ストレスと神経細胞死」

と き：平成13年12月14日(金) 10:00 ~
17:00

と ころ：千里ライフサイエンスセンタービル
5階ライフホール(大阪)
(地下鉄御堂筋線千里中央駅北口すぐ)

主 催：財団法人千里ライフサイエンス振興財
団

コーディネータ：

奈良先端科学技術大学院大学
バイオサイエンス研究科
助教授 今泉 和則
大阪大学大学院 医学系研究科
教授 遠山 正彌

プログラム：

1. 小胞体ストレスにตอบสนองして活性化される転写
因子

京都大学大学院 生命科学研究科
助教授 森 和俊

2. 小胞体ストレスと小胞体関連分解

京都大学 再生医科学研究所
生体機能調節学

助教授 細川 暢子
教授 永田 和宏

3. 小胞体ストレス応答に関与する膜キナーゼの
役割

奈良先端科学技術大学院大学
遺伝子教育研究センター
教授 河野 憲二

4. 小胞体ストレス蛋白による神経細胞死抑制

金沢大学大学院 医学系研究科

脳医科学神経分子標的講座

教授 小川 智

5. 小胞体機能障害を引き起こすプレセニリン2
異常スプライシング

大阪大学大学院 医学系研究科
ポストゲノム疾患解析学講座
片山 泰一

6. 家族性パーキンソン病と小胞体ストレス

理化学研究所 脳科学総合研究センター
運動系神経変性研究チーム
チームリーダー 高橋 良輔

受講料(講演要旨集含む)：

会員(大学, 官公庁, 賛助会員)：3,000円,
非会員：5,000円, 学生：1,000円

定 員：300名

申込方法：

氏名, 勤務先, 所属, 〒住所, 電話番号,
FAX番号を明記の上, 郵便, FAXまたはE-
mailで下記宛お申込下さい。

事務局より受付の通知を返送いたしますので,
記載した振込先口座に参加費をお振込みくださ
い。

入金確認後,(通常2週間以内)領収書兼参加
証をお届けいたします。

申 込 先：

千里ライフサイエンス振興財団セミナー(B14)係
〒560 0082 大阪府豊中市新千里東町1 4 2
千里ライフサイエンスセンタービル8階
TEL (06) 6873 2001 FAX (06) 6873 2002
E-mail: tnb-lsf@senri-ic.co.jp

URL: <http://www.senri-ic.co.jp>

「エルシー」です.)

(注: アドレスのIsfは「エルエスエフ」, Icは



岡崎国立共同研究機構・統合バイオサイエンスセンター・ 時系列生命現象研究領域 助手およびポスドクの募集

URL: <http://www17.u-page.so-net.ne.jp/dc4/maboya/>

当研究センターは、生命の本質を分子レベルからその集合組織体としての生命体に統合する点に位置付け、発生分化再生・ゲノム科学・構造生物学の研究拠点の一つとして岡崎国立共同研究機構に発足しました。現在岡崎の新しい敷地に8階建て研究棟、動物実験棟を新築中です。当グループは生理学研究所と協力するとともに、イオンチャネル、発生、構造生物学、環境生物学、分子科学の研究室と同じの建物で連携を保ちつつ研究を行う予定です。平成14年に新実験棟に移動予定で、これに伴い助手とポスドクを募集します。

ポ ス ト: 助手(平成14年4月より着任, 7年程度の任期が付く可能性あり), ポスドク(平成14年4月より着任, 原則として2年, 延長可)各1名

研究分野: 哺乳類神経発生過程での, 細胞種に特有な膜興奮性が確立される分子機構を, 分子生物学, 遺伝子改変動物, 電気生理(パッチクランプなど)の技術を用いて解析することを目指す。またゲノム解析が進みつつある原索動物ホヤの神経系の形成を, 神経機能分子の発現から解析するプロジェクトも並行する。

勤 務 地: 愛知県岡崎市

募集資格:

助手: 博士号を取得し, 分子生物学的研究または電気生理学実験を十分経験された方(35歳未満が望ましい)。

ポスドク: 博士号取得者。

提出書類: 履歴書(写真貼付), 業績リストおよび代表的な論文の別刷りまたはコピー, 現在までの研究概要と今後の抱負(A4で1枚

程度), 応募者について評価できる研究者2名の名前と連絡先(所属・役職・住所・電話・Fax番号, 電子メールアドレス), 希望するポスト

応募締め切り: 適当な人材が決まり次第。

書類送付および問い合わせ先:

〒305 8566 茨城県つくば市東1 1 1
産業技術総合研究所・脳神経情報研究部門
岡村 康司

TEL 0298 61 6551 FAX 0298 61 6406

Email: yokamura@nips.ac.jp

HP: <http://www17.u-page.so-net.ne.jp/dc4/maboya/>

応募書類は「教官応募書類」と朱書し, 簡易書留による送付。

参考文献:

Okagaki R., et al (2001). The maternal transcript for truncated voltage-dependent Ca^{2+} channel in ascidian embryos; a potential suppressive role for Ca^{2+} channel expression. *Dev. Biol.* 230: 258-277.

Meinertzhagen, J.A. & Okamura, Y. (2001). The larval ascidian nervous system: the chordate brain from its small beginnings. *Trends Neurosci.* 24: 401-410.

Ono F., et al (1999). Subfamily-specific posttranscriptional regulation underlies K^{+} channel expression in a developing neuronal blastomere. *J. Neurosci.* 19 (16): 6874-6886.

Okamura, Y., et al (1994). Neural expression of a sodium channel gene requires cell specific interaction. *Neuron* 13: 937-948.